

佐々木六角氏と観音寺城

1) 概要

平安時代に入ると、近江国一帯の開発の進展に伴い、数多くの荘園が設定されることとなります。市域には、佐々木荘、豊浦荘、津田荘、奥島荘、三村荘、日牟礼荘、馬淵荘、船木荘、邇保庄等が確認されています。

このうち**佐々木荘**は、旧安土町域の南部一帯を荘域とする荘園で、蒲生郡や神崎郡を勢力範囲とした古代豪族佐々貴山（佐々貴）氏と深く関わります。一方、平安時代には、宇多天皇の子敦實親王系^{あつぎ}の軍事貴族である宇多源氏一族が佐々木荘で土着化し、宇多源氏佐々木氏を名乗ります。以降、当地には佐々貴氏と佐々木氏の2系統が存在しましたが、次第に佐々木氏が優勢となり、鎌倉時代の源平争乱における佐々木秀義、その嫡男定綱らの活躍により佐々木氏が近江国守護に補せられたことで、以後佐々木氏が惣領、佐々貴氏が被官的な立場となりますが、やがて両者は同化していきました。このことから当地は、全国の佐々木姓の起源とされ、現在**沙沙貴神社**境内には**佐々木源氏発祥之碑**が建立されています。

また、**豊浦庄**は旧安土町域の北部、上豊浦・下豊浦あたりに比定される荘園で、天平感宝元年（749）に薬師寺に施入され、末寺**桑實寺**がその管理を担いました。その様子は大乘院寺社雑時記や**紙本著色桑実寺縁起**にうかがうことができるほか、**新宮神社**には**絹本著色薬師十二神将像**及び**絹本著色釈迦十六善神像**が、正禅寺には六角氏頼を願主とした旧新宮神社蔵大般若波羅蜜多経が伝えられます。また、地域にはその名残として、多種の**薬師信仰**が残されています。

鎌倉時代に佐々木氏は、幕府により分立し、当地は嫡流六角氏により統治されることとなります。**佐々木六角氏**が戦国時代に居城としたのが**観音寺城**です。観音寺城は、元弘の変（1331年）後の南北朝動乱期には存在したと考えられますが、六角氏の居住する城として整備されたのは、16世紀前半のことと考えられ、標高432mの**織山**^{きぬがさやま}の山頂から南山麓にかけて郭が広がる大城郭は、安土城に先駆けて石垣、礎石を多用した画期的なものです。

城下町である**石寺**と**老蘇**は織山南山麓に位置し、城主六角氏の「御屋形跡」をはじめ、かつての城下町の名残を示す遺構や地名が数多く残されています。また、**石寺新市**^{いしでらしんいち}（推定地・安土町東老蘇）の存在など経済政策面においても近世都市の先駆けとなりました。

六角氏の栄華とともに中世近江の主役として表舞台に立ってきた観音寺城でしたが、「観音寺騒動」（永禄6年（1563））に端を発する支配体制の弱体化が進むと、永禄11年（1568）の織田信長の侵攻により落城し、その後、天正7年（1579）に安土城が完成したことで、観音寺城は歴史的役割を終えることとなります。なお、落城後の城下町石寺には、新たに**向山**^{むかいやま}からの集落が移転したとの伝承があり、それが現在の石寺の集落と思われます。

当地に残る佐々木六角氏ゆかりの社寺として、沙沙貴神社、新宮神社、桑實寺及び正禅寺とともに、観音寺城跡の中央に境内を構える**観音正寺**、その子院であった**教林坊**、六角氏の菩提寺で六角一族の墓と伝えられる**宝篋印塔**^{ほうきょういんとう}がある**慈恩寺跡**（現浄厳院）、観音寺城下の一部として栄えた東老蘇の**奥石神社**などが挙げられます。

その他、市内には六角氏の居館・居城の**金剛寺城（金田館）跡**、観音寺城のほか支城や関連する城跡として、**水荃岡山城跡**、**長光寺城（瓶割山城）跡**、**北之庄城跡（深谷・岩崎山城遺跡）**、**円山城跡**、**沖島頭山城跡**などの山城、**常楽寺城（木村城）跡**、**田中江城跡**などの平地城館が確認され、また、湊（**常楽寺**）や街道（**東山道**、**景清道**）など関連遺構が残されています。

近江八幡市の市章は、佐々木六角氏に由来する「六角」と八幡の「八」を平和のシンボル鳩の形に置かれたものであり、現代の暮らしの中にも六角氏の足跡が残されています。

2) 構成歴史文化資産

	種別	名称	類型
1	記念物	観音寺城跡 (主郭部、郭跡、石垣跡、土塁跡、御屋形跡(天満宮)等)	国指定文化財
2	有形文化財	観音寺城跡出土品(陶器類等)	未指定
3	有形文化財	桑實寺 本堂	国指定文化財
4	有形文化財	桑實寺 紙本著色桑実寺縁起*	国指定文化財
5	有形文化財	沙沙貴神社 本殿・中門・透塀・権殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊	県指定文化財
6	有形文化財	正禅寺 大般若波羅蜜多經**	県指定文化財
7	有形文化財	浄厳院 宝篋印塔	市指定文化財
8	有形文化財	沙沙貴神社 石燈籠	市指定文化財
9	有形文化財	新宮神社 絹本著色薬師十二神将像**	県指定文化財
10	有形文化財	新宮神社 絹本著色釈迦十六善神像**	市指定文化財
11	記念物	篠筈郷関連遺跡(安土廃寺推定地等)	未指定
12	記念物	石寺新市推定地	未指定
13	記念物	水茎岡山城跡	未指定
14	記念物	長光寺城(瓶割山城)跡	未指定
15	記念物	北之庄城跡	未指定
16	記念物	円山城跡	未指定
17	記念物	沖島頭山城跡	未指定
18	記念物	金剛寺城(金田館)跡	未指定
19	記念物	常楽寺城(木村城)跡	未指定
20	記念物	田中江城跡	未指定
21	民俗文化財	沙沙貴祭り(沙沙貴神社)	未指定
22	その他人文	湊(常楽寺)	未指定
23	その他人文	観音正寺城登城道(観音寺道北、観音寺道南)	未指定
24	その他人文	街道(東山道(中山道)、景清道)	未指定
25	その他人文	観音寺城下町(石寺)の町並み(地割、地名等)	未指定
26	その他人文	ゆかりの社寺 (沙沙貴神社、新宮神社、桑實寺、観音正寺、教林坊、 慈恩寺(現浄厳院)、正禅寺、奥石神社等)	未指定
27	その他人文	佐々木源氏発祥之碑	未指定

その他…上記以外の埋蔵文化財包蔵地(観音寺城跡等)遺構及び出土品、上記以外の遺跡・遺構(中世城跡:北之庄城等、寺院跡:正覚院跡等)、街道に関する資産(景清身丈石、袈裟切地蔵、道標、常夜灯、町石等)、上記以外の中世城跡・城館跡等、言い伝え・伝承(薬師信仰、お茶子谷地蔵の伝承)等

※市外に所在、または市内外の美術館等に寄託している資産

3) 保存・活用の核となる関連施設等

県立安土城考古博物館(安土)など
